



産業用インクジェット
プリンタ (大文字用と
小文字用)
Macsween社の
用途事例

食肉加工品メーカーが ビデオジェットのシンプルな技術革新の 提案でビジネスを拡大

イギリスの Macsween of Edinburgh 社は、元は 1950 年代に精肉店として開業した、3 代続く同族企業です。同社は、一族の事業家たちに引き継がれ、現在は James Macsween と Jo Macsween の兄妹が経営を担っています。同社は、最近、創業 60 周年を迎えました。

Macsween社は世界初のハギス(羊の肉や内臓を使ったスコットランド料理)専門のメーカーで、最高においしい食品作りに熱心に取り組んでいます。他にはない独自の製品を製造することにより、Macsween社はますます多くの顧客を引き付け、ハギスの出荷を新しい市場へと拡大してきました。たとえば、世界初のベジタリアン向けハギス、電子レンジにかけられる「Haggis in a Hurry」シリーズ、鹿肉のハギスやスリーバードハギスなど季節限定のバージョンなどがあります。また、ブラックベディングのシリーズも人気です。



「ビデオジェットのインクジェット技術は、かつて非常に汚い仕事だったものを激変させました。市場で最も優れた機器です。印字を本当に簡単なものにできるのです。」

代表取締役社長 James Macsween 氏
Macsween of Edinburgh社



Macsween of Edinburgh社の製品は現在、ハギス市場のおよそ 40 % を占めています。毎日平均 8 トンの製品を加工しており、これは平均すると 25,000 個に相当します。また、廃棄物を 100 % リサイクルする、スコットランドで最初の食品メーカーの 1 つです。



Macsween社はその継続的な改革により、さまざまな賞を授与されるまでになりました。これまでに IGD 食品産業賞 (IGD Food Industry Awards) で名誉ある「優秀な事業に贈られる Morrisons 賞 (Morrisons Award for Outstanding Business)」を、また、優れた食品のギルドにて最高の荣誉である「金の三つ星 (3 Gold Stars)」(ハギスでは現時点で唯一の受賞)等を受賞しています。

同社は高品質、革新性、環境面への責任を第一に考えており、これはビデオジェットと同じ基本的価値観です。

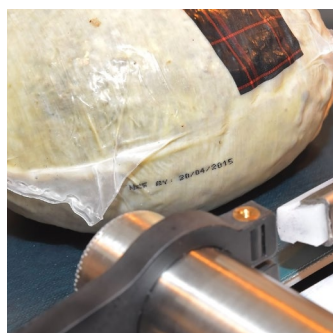
近年その製品開発は、顧客による製品の使用方法や調理方法の変化に基づいて進められてきました。その結果、多様な調理方法に対応しながら、利便性を最大限にするために考案された新しい包装ソリューションが採用されています。これにより、透明なシュリンクフィルムの包装、「ソーセージ」型、従来の「丸」型、スライスしたブラックブディングの真空パック、黒のパッケージ入りのハギスなど、より多様な包装材やフォーマットが使われるようになりました。

こうした新しい包装デザインは、イギリスから西ヨーロッパに至るまでの流通を追跡する必要性と相まって、製品への印字要件に変化をもたらしています。Macsween社の事業が成長し、Marks and Spencers (M&S) などの大型スーパーとの契約を確保するようになると、手作業やハンドヘルドによる製品へのラベル付け作業は非効率的で時代遅れなものとなりました。

以前は、主に値付け用のハンドラベラーなどを使用して製品に販売期限を貼付していました。この方法は元来管理しづらいものでしたが、製造量の増加により、さらに顕著になったのです。M&S などのイギリスの小売店は、サプライヤーが厳しい品質ガイドラインを守り、正確で一貫した日付の印字を確実に行うプロセスを持っていることを期待しています。これにより、消費者の健康と小売店のブランドを保護できるからです。

Macsween社の James Macsween 代表取締役社長は、増大するトレーサビリティに対する新しいニーズに対処するため、自動印字ソリューションについてビデオジェットに問い合わせてきました。当初、Macsween社は次の 2 つの印字ニーズを満たすソリューションを求めています：

1. シュリンクフィルムで包装されたハギスを留めるナイロンループに取り付けるタグに、製品に関するすべての必須情報を印字する
2. スライス済みのブラックブディングの黒いパッケージにユリウス日を正確かつ明確に印字する



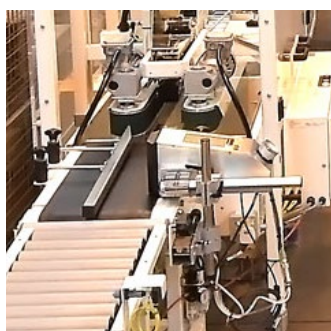
包装材や色が多様であるため、印字ソリューションは柔軟性が高いものでなければならず、汎用性が高くても、結局はどの用途でも中途半端な結果しか得られないソリューションは不適切でした。その点、ビデオジェットは幅広い技術と製品群を提供できたため、Macswen社は新しい印字ニーズを一手に引き受けるサプライヤを選択することができました。新しいサプライヤや包装機に投資する場合、設置やトレーニングがお客様にとって負担となることがありますが、サプライヤを1つに絞ることで、既存の生産ラインへの統合を効率良く行うことができ、トレーニングの必要性を軽減することができました。これはお客様にとって大きなメリットです。

James Macswen 氏は
 言います。「自動印字
 ソリューションの必要性が
 生じた時、ビデオジェットは
 当然の選択でした。当社の
 スタッフのために可能な
 限り仕事をシンプルにする
 ことは、会社全体のため
 になりますからね。」

ビデオジェットは、最新の革新的なインクジェット技術により、製品と外箱の両方に対するソリューションを提示しました。Macswen社は、主要な印字要件に対処するために、シンプルで信頼性の高い Videojet 1000 シリーズを4台導入しました。これには、黒のフレキシブルフィルム包装材に明るい青色で高コントラストのテキストを印字する（これは M&S 品質管理チームによって規定された要件です）ための、顔料系インク専用の Videojet 1710が2台含まれます。この特定の用途では、生産ラインの下側から印字する必要がありました。これは従来の産業用インクジェットプリンタ（小文字用）では、印字品質の問題が生じる可能性があります。しかし、Videojet 1000 シリーズの独自の CleanFlow（クリーンフロー）™ プリントヘッドの設計により、プリントヘッドのインクの蓄積の問題は発生しません。ノズル詰まりもなく、高品質で一貫性のある印字が維持されます。

「プリンタはユーザーフレンドリーで、システムは使いやすく、新しいジョブはシンプルにすばやく設定できます。日付を間違えることは絶対にありません。」

Karen Alexander 氏
Macsween of Edinburgh社、生産ラインリーダー



James Macsween 氏は続けます。「テクノロジーは効率的で信頼性が高く、とても清潔です...マシン上に表示される指示に従っていれば、自動的に操作が行われます。カートリッジを使ったインクシステムは、チームのボカヨケにもなりません。カートリッジの交換で汚れることもないし、廃棄物も大幅に減りました。」

産業用インクジェットプリンタ(小文字用)に加えて、外箱上に情報を印字するために Macsween社は産業用インクジェットプリンタ(大文字用) Videojet 2300 シリーズを 3 台購入しました。以前は、手作業と半自動のラベル貼付方法を採用していました。Videojet 2300 シリーズのプリンタを使用して高解像度のテキストとバーコードを外箱に直接印字することで、今まで行ってきたラベル貼付で発生していたコストと廃棄物をなくすことができました。そのうえ、よりきれいに効率的に行うことができ、ANSI グレード(等級) A の印字も達成できました。

James Macsween 氏はこう説明します。「外箱印字の変更は大きな転換です。印字工程で処理できる箱の個数を増やせて、ダウンタイムを削減でき、印字品質も向上できたために当社のブランドをより洗練したイメージでアピールできるようになりました。それだけでなく、印字コストも削減できましたし、生産ラインのスタッフ数も減らせたので、スタッフの大事なトレーニングにもっと時間を使うことができるようになりました。」

ビデオジェットの最新の製品には、1つの共通したユーザーインターフェイスが使用されていて、直感的に操作ができて非常にユーザーフレンドリーです。CLARiTY (クラリティ) インターフェイスは、シンプルなアイコンを使用した鮮やかな色のタッチスクリーンが特徴で、オペレーターはシステムをスピーディーに使いこなすことができるため、ジョブの切り替えやメッセージの設定にかかる時間が短縮されます。また、製造チーム全員が、必要なときに効率的にプリンタを操作できるので、特別なトレーニングや機器の専門家の必要性がなくなります。これは、家族経営の企業では重要なメリットです。

インターフェイスには印字事故防止機能が内蔵されていて、これも Macsween社のスタッフに大きなメリットとなっています。たとえば、新しい産業用インクジェットプリンタ(小文字用)では、設定済みの選択肢から印字情報を選べるので、オペレーターが間違った日付を入力するというミスはほとんど起きなくなります。CLARiTY インターフェイスと、搭載された印字事故防止機能が日常的にスタッフを支援するために、管理者は印字工程の信頼性を高い水準で保てます。



Macsween社の生産ラインリーダーの Karen Alexander 氏はこう話します。「プリンタはユーザーフレンドリーで、システムは使いやすく、新しいジョブはシンプルにすばやく設定できます。日付を間違えることは絶対ありません。」

James Macsween 氏と Jo Macsween 氏は、機器を常に適切に保守して、確実に最高水準で稼働させるために、ビデオジェットのケアパッケージに投資しました。

James Macsween 氏はこう言います。「マシンは大変スムーズに機能し、私たちが現在メンテナンスしなければならないことはほとんどありません。オペレーターの何人かは技術サポートヘルプラインを利用したことがありますが即座にサポートを得られて、大変有益だったそうです。」

ビデオジェットは、Macsween社の印字とラベル貼付工程の自動化を支援できたこと、また同社における作業の効率改善とコスト削減に貢献できたことを嬉しく思っています。イギリスのビデオジェットチームは、Macsween ブランドの成長に伴い、将来わたって新しいプロジェクトでもお手伝いできることを願っています。

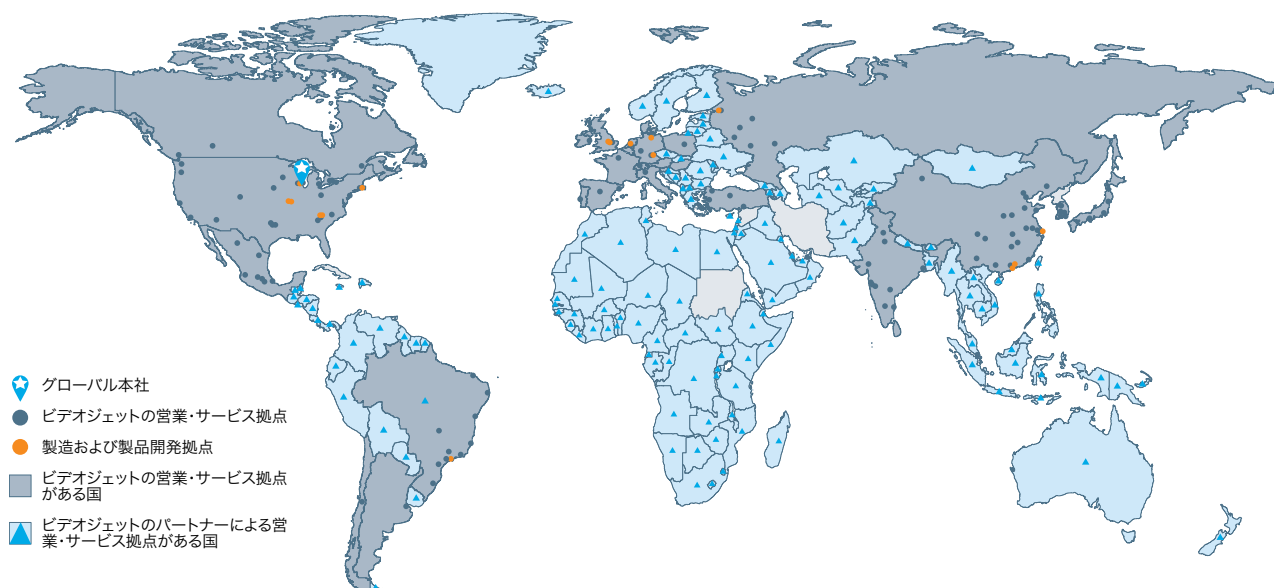
James Macsween 氏はこう締めくくります。「ビデオジェットのインクジェット技術は、かつての非常に汚い作業を激変させました。市場で最も優れた機器です。印字を本当に簡単なものにできるのです。」

安心がビデオジェットの標準

ビデオジェットは、産業用印字のグローバル市場で活躍する企業です。印字用装置、特定用途向けに開発されたインクや溶剤、そして製品のライフサイクルを通じたサポートを提供してきました。

当社の目標は、コンシューマ向けパッケージ品、医薬品、産業用製品などを製造するお客様とのパートナーシップを通して、そのお客様が生産性を強化してブランド価値の保護や向上を図り、業界トレンドや法規制遵守で業界のリーダーとなるお手伝いをする事です。産業用インクジェットプリンタ（大文字用と小文字用）、サーマルインクジェットプリンタ、レーザーマーカ、産業用サーマルプリンタやラベラーなどの製品分野で専門的ノウハウや先端技術を有するビデオジェットは、世界で 325,000 台を超えるプリンタの納入実績があります。

ビデオジェット製品は、販売先で 1 日 100 億を超える製品に印字を行っています。世界 26 か国の直営事業所で 3,000 名以上のスタッフが、製品販売、設置やトレーニングのサポートを提供しています。また、流通ネットワークには 400 以上の代理店業者および OEM が含まれており、135 か国でサービスを提供しています。



TEL: 0120-984-602

Email: info@videojet.co.jp

または当社のホームページ

www.videojet.co.jp をご参照ください

ビデオジェット社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2015 Videojet Japan. All rights reserved.

ビデオジェット社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。20151130

